

授業科目	英語教科教育法 V				単位	2		
履 修	選択	関連資格	高一種免(英語) 中一種免(英語)		ナンバリング	EN24111J		
開講年次	4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP4-3 DP5-2			
担当教員	太田 かおり							
授業概要	英語教科教育法 I～IVや専門教育科目で学修したことを踏まえ、高等学校の教科書を使用して模擬授業を行う。模擬授業を通じ、生徒の英語力向上に寄与するための授業内容や指導方法、配布資料の工夫などについて実践的に学ぶ。より効果的な指導や学習指導案の書き方について理解を深め、教育実習や実際の英語授業にも活かすことができる指導技術を高める。また、模擬授業後には授業者に対する学生同士による相互評価を行い、最後にまとめとして具体的な指導助言を行う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語に関する確かな知識と運用能力を用いて、英語による授業が展開できる。 6. 英語教師への志と資質をさらに高めることができる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)			30				30	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)					20	20	40	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)				30			30	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
以下の項目を高度なレベルで行うことができる。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語に関する確かな知識と運用能力を用いて、英語による授業が展開できる。 6. 英語教師への志と資質をさらに高めることができる。 				<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業展開に則した学習指導案を作成することができる。 2. 学習指導案に即した授業を行うことができる。 3. 効果的な配布資料を作成することができる。 4. 電子黒板やパソコン等の IT 機器を効果的に活用して授業を行うことができる。 5. 英語に関する確かな知識と運用能力を用いて、英語による授業が展開できる。 6. 英語教師への志と資質をさらに高めることができる。 				

授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	1 英語教科教育法Ⅴの授業ガイダンス 授業概要を説明し、達成目標、評価内容や方法について説明する。	講義	復習: 該当部分の復習	90
2	2 授業の展開(1): 指導案の作成方法 ／授業計画・授業展開・配布資料・学習指導案の作成と助言 その1	講義・演習	予習: 該当部分の予習	90
3	3 授業の展開(2): 指導案の作成方法、dictoglossの指導法 ／授業計画・授業展開・配布資料・学習指導案の作成と助言 その2	講義・演習	予習: 該当部分の予習	90
4	4 模擬授業① Lesson 1 “The Power of Vision and Hard Work その1” (Introduction - Part1 p.5-p.6)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
5	5 模擬授業② Lesson 1 “The Power of Vision and Hard Work その2” (Part2 p.7)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
6	6 模擬授業③ Lesson 1 “The Power of Vision and Hard Work その3” (Part3 p.8-p.9)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
7	7 模擬授業④ Lesson 1 “The Power of Vision and Hard Work その4” (Part4 p.10-p.11/ p.12-p.13)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
8	8 模擬授業⑤ Lesson 8 “One Pen Can Change the World その1” (Introduction p.97-Part1 p.99)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
9	9 模擬授業⑥ Lesson 8 “One Pen Can Change the World その2” (Part2 p.100-p.101)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
10	10 模擬授業⑦ Lesson 8 “One Pen Can Change the World その3” (Part3 p.102-p.103)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
11	11 模擬授業⑧ Lesson 8 “One Pen Can Change the World その4” (Part4 p.104-p.105)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
12	12 模擬授業⑨ Lesson 8 “One Pen Can Change the World その5” (まとめ p.97-105 / Workshop p.106-p.107)(授業評価と講評、本講義のまとめ)	演習	予習: 該当部分の予習	90
13	13 授業展開・指導方法・模擬授業全般に関する振り返り／総括	演習	予習: 該当部分の予習	90

14	14 実践試験問題レポート講評・ディスカッション(1) ／評価・試験問題作成上の留意点(1)	演習	予習：該当部分の予習	90
15	15 実践試験問題レポート講評・ディスカッション(2) ／評価・試験問題作成上の留意点(2)／ 総括	講義	予習：該当部分の予習	90
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	1. 英語教科教育法Ⅰ～Ⅳで学修してきた各種教授法の基礎知識 2. 中学校1～3年生で使用する教科書の基本知識および高等学校で使用する教科書の予備知識 3. 小学校・中学校・高等学校における学習指導要領の基礎知識			
テキスト	・「PRO-VISION English Communication I New Edition」 桐原書店 ・文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』(2016) ・文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編』(2015)			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	・金森憲他『英語授業ハンドブック・中学校編』大修館書店(2013) ・金森憲他『英語授業ハンドブック・高校編』大修館書店(2013) ・望月昭彦・磐崎弘貞・卯城祐司・久保田章(著)『新学習指導要領にもとづく英語科教育法 第3版』大修館書店(2018) ・文部科学省『中学校学習指導要領』(2016) ・文部科学省『高等学校学習指導要領』(2015) その他、適宜授業中に紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	1. 毎回、次時の模擬授業の範囲を全員予習してくること 2. 英語力強化を目指し、継続的に英単語力・英文法力・構文力を身につけるように努めること 3. 英語教育に関する新聞記事や時事問題には日頃から敏感になり、情報収集に努めること 4. 英語教師としての資質を磨き高めるため、日頃から自己研鑽に努め、ボランティア活動や英語指導には積極的に参加すること			

達成度評価に関するコメント	①レポート(30%)・・・模擬授業範囲の定期試験問題作成課題 ②発表(30%)・・・学習指導案と模擬授業 ③レポート以外の提出物(20%)・・・模擬授業の評価シート ④その他(20%)・・・討論への積極的な参加、質疑応答 ※①～④を総合的に評価する。
---------------	---